



矢野園

矢野の伝統を語る重伝建地区の顔を観光起点に
桐生歴史文化資料館を併設しリニューアル！

桐生新町重要伝統的建造物群保存地区（重伝建地区）の入口に位置する矢野園。堂々たる木製看板も誇らしい江戸風の商家構えの建物は桐生を紹介する多くのメディアに登場し、重伝建地区はもとより地域のシンボルとも言える。その矢野園が、令和8年5月1日にリニューアルオープン。伝統建築の趣を活かしつつ店内を大幅に改装、隣接地にあった「桐生歴史文化資料館」も店内に移転し、建物内外ともに桐生観光の起点を担う顔として、来桐者を迎え入れる。

建物の築造は大正5年（店蔵部分は明治23年以前）。享保2年（1717）近江商人の初代矢野久左衛門の来往をルーツに現在まで三百余年もの伝統を誇る（株）矢野（矢野秀一社長）の本店として建てられ、2階には近江から来桐した当主専用の部屋が残るなど往時の商家の姿を伝える貴重な存在で、桐生市の重要文化財に指定されている。

矢野が当地に店舗を構えたのは寛延2年（1749）。清酒醸造と質業に始まり、呉服や染料、化学品など

時勢に応じ事業拡大するなか、昭和3年に銘茶部門を設立し、現在に至るまでこの建物で茶や米などの小売販売や喫茶営業を続ける（令和4年に同部門を（株）矢野園として分社）。改装後はこだわりの銘茶とともに軽食や甘味が味わえる「喫茶有鄰」のスペースを拡大。人気店とのコラボメニューも開発し、建物構造を活かした開放的な空間で、癒しのひとときを提供する。桐生歴史文化資料館が常設展示する明治期の生人形「白龍姫」像の前にはベンチを配し、休息しながら見学が可能。再生した中庭を望みつつ奥に進むと、江戸時代からの帳面や什器類、多彩な古看板などが並び、矢野が歩んだ深い歴史を窺い知ることができる。

外観のみならず館内もレトロな魅力に満ちた矢野園の風情を存分に味わいつつ、美しく整備された重伝建地区の散策を堪能したい。

【矢野園】

- 住所／桐生市本町2-6-30
- 電話／0277-45-2925
- 営業時間／10:00～18:00
- 休館日／月曜日・火曜日（祝日の場合は翌日休）
- HP／<https://www.kkyanoen.com/>
- Instagram／@kiryu_yanoen